

SHIRAKOBATO

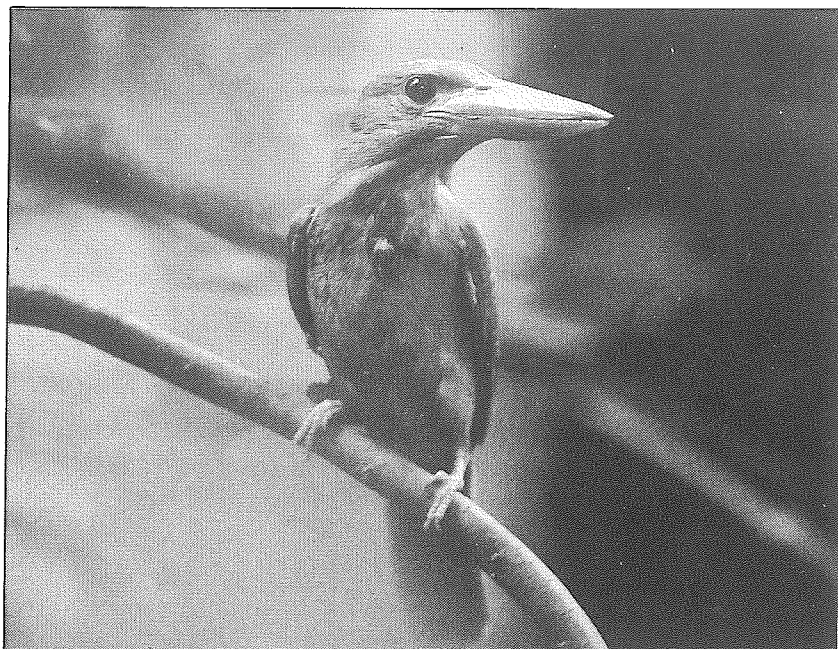
しらこぼと



1989. 7

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 62

日本野鳥の会 埼玉県支部

BIRDATHON 1989

6月4日、全国で公式チーム25、オープンチーム多数が参加し、バードソンが開催されました。私たちの埼玉県支部公式チーム「アズ熊谷・埼玉のスイートポテトたち」も力いっぱい戦い、確認種数65を記録しました。

正式な総合順位等は、後日「野鳥」誌等で発表されますが、現在までの仮集計によると、「アズ熊谷・埼玉のスイートポテトたち」は、250件以上の寄付者と40万円以上の寄付金を集め、前回は上回る成績をおさめています。会員のみなさまの善意に感謝しながら、スイートポテトたちに、バードソンの報告をしてもらいます。

概況報告

両神山麓 午前3時40分、両神山のふもと、白井差口の民宿を出発。諏訪監督率いる4人のイモ娘を乗せた車は、薄明の中、登山口へ向かう。運転担当は、期待の新人、伊藤芳晴氏。墨で描かれたような山々が、次第に色彩を帯びてくる。午前4時、競技開始。目標78種。初名乗りをあげたのはジュウイチ。コノハズクが、神秘の3拍子を刻む。マミジロ、アカハラの歌合戦。連鎖反応のように、囀りが始まり、午前6時までには23種。まずまずのスタート。さらに小森川の畔で、ヤブサメ、カワガラス。ゆっくり朝食をとる間もない。お握りを持ったまま、探す、見る、聴く。

三峰河原 一行は、選手・監督ほか、サポート隊、スポンサー合わせて12名。車は4台、連なって早朝の秩父路を駆け抜ける。散歩の途中のお爺さんが、いぶかしげに振り返る。午前7時、三峰河原着。夜明け前から待機していた第2サポート隊3名と合流、イカルチドリ、オシドリ、キジなどを観察。熱い紅茶を飲みながら、ヤマセミを待ったが、結局出会えず。望みを玉淀湖につなぎ、午前8時30分、出発。確認種類数は37種になった。

玉淀湖まで 会員から寄せられた貴重な情報をもとに、秩父周辺のポイントを回る。武州日野でサンコウチョウ。秩父15番札所、小林寺ではコムドリを観察。美の山公園上空を舞うサンバ。午前10時20分、玉淀湖。支部第千の男、田口氏の活躍で、アオバズクを見る。ヤマセミは望み薄。ただいま46種。気温が上



キャプテン

みどりさん

熊谷駅で勇ましく
選手宣誓してくれ
我がアズ熊谷のキャプテン

今日は独身時代最後の
バードソンイベント...

ご縁おめいりうじはす♡

がってきた。暑い熱い戦いになりそうだ。

阪東大橋 水鳥の楽園で待ち受けるサポート隊は、県北の雄、林氏、町田氏。午前11時30分、到着。ヒバリやセッカの歌と、冷たいビールの歓迎を受ける。川面を飛び交うコアジサシ、ツバメチドリを確認後、カッコウの声響く中、ひととき優雅なランチを楽しむ。ところで、何故かカイツブリ、ハクセキレイがいない。サギ類も今ひとつ。現在61種。残り3時間。目標達成は、ちょっと苦しい。

大麻生 午後2時30分。釣り人や家族連れで賑わう河原に、鳥影は少ない。が、第5サポート隊の協力で、遂にカイツブリを確認。汗と埃にまみれて、オオタカなど3種を追加、65種。残り50分。ハクセキレイは何処へ？

別府沼 最後の戦場は、麦畑に囲まれた静

かな沼。オオバンが繁殖しているというが—
出てこいオオバン、出てこいハクセキレイ。
望遠鏡を肩に、選手達が走る。文字通りのバ
ードソンだ。午後4時、工場のチャイムが競
技終了を告げた。ツバメが2羽、麦畑をゆく。
戦い終えた充実感。目標を達せなかった悔や
しさ。或いは、ただひたすら“ビール！”—
様々な思いを胸に、一行はA Z熊谷での到着

素晴らしいドラマ

“新しい朝が来た、希望の朝だ。喜びに胸を
開け、大空仰げ、ラジオ体操の歌です。私た
ち4人は、両神山中腹で厳肅なる朝を迎えま
した。野鳥のコーラスは夜明け前から始まり
心静かに、あちらで鳴いているのはジュウイ
チ、こちらではマミジロ、元気者はミソサザ
イと確かめるように指折り数えていました。

道端に咲く、ハルジオンやノアザミにまで
目は届き、今日は良い日になりそうだと思っ
ていると、ところがどっこい、日が高くなり、
行楽の人が多くなるにつれ、種類は増えなく
なってきました。カイツブリはまだか、ハク
セキレイは飛ばないかと、目は血走ってくる
し、日射しが強く体はバテルーと、朝の元気
はどこへやら、それでも皆さんのおかげで、
季節外れのオシドリ夫婦や、頬から首すじま
で赤いコムクドリ、凜々しいアオバズク、コ
アジサシの乱舞など、12時間でこんなに素晴
らしいドラマを見ることができました。

(金子真理)



病人の黒田さん。

前日から風邪が治らず
終始 ぼけ 状態。
おさんとご迷惑を
かけました。
ご迷惑を
おかけしました。

式に向かった。(『しらこぼと』特派記者)
●終了後のビールは、まさに究極の味。皆で
力を合わせてやり遂げた、ホットなバードソ
ンだった。サポート隊、スポンサーの皆様を
始め、様々な形で協力して下さった多くの方
々に、心からお礼を申し上げます。本当にあ
りがとうございました。

(横山みどり)



遠くの野鳥より近くの野鳥

6月4日、午前4時、まだ薄暗い中、我ら
イモ娘達のバードソンは両神山の麓でスター
トした。少しずつ空が白んでいく間、コノハ
ズクの声が聞こえ、これは幸先がいいぞと思
いながら移動を開始。雨女が4人そろったに
もかかわらず良いお天気に恵まれ、午前中は
三峰、日野の各ポイントでオシドリ、サンコ
ウチョウ、コムクドリを確認。なかなかラッ
キーだった。しかし後半、このあまりにも良
すぎる天气が災いし、鳥がさっぱり出てくれ
ない。さあ、困った。どうしよう。阪東大橋
から大麻生へ移動の際、ハクセキレイに的を
しぼり走りまわって探してみたが、普段身近

会員の声

私のモデルたち、そして失敗談義 町田好一郎（本庄市）

利根川の阪東大橋下流付近をフィールドにしている私には、四季折々を通じて、いろいろな野鳥たちが入れ代わり立ち代わりモデルを務めてくれます。

春まただ中、この季節はなんといっても、カワセミのブル雄とセミ子が主役です。今、彼はセミ子に夢中で、セッセと小魚をプレゼントしています。

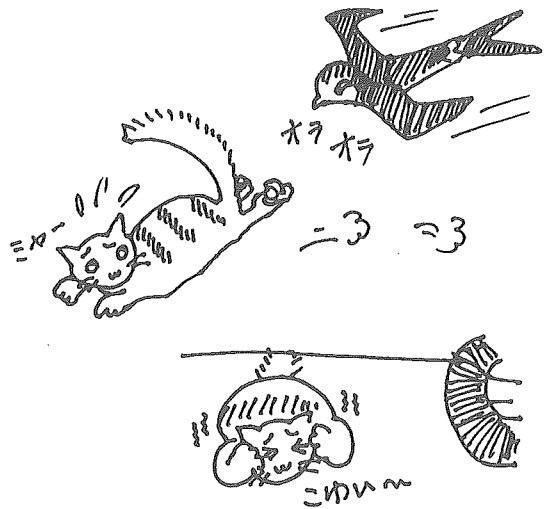
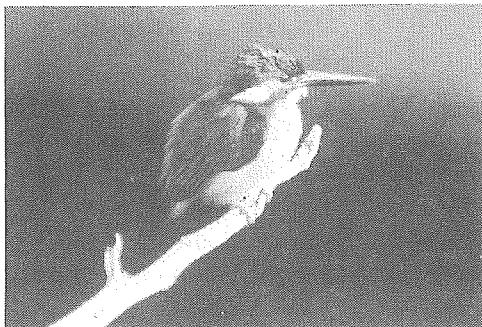
先日、彼らの求愛給餌が撮りたくて、朝5時にはブラインドに入りました。なっ、なんと、ファインダーを覗いたとたん、彼らが寄り添っていつもの枝に止まっているではありませんか。

やや興奮ぎみ、それでもサッと露出を補正し、たてつづけに5、6枚シャッターをきりました。確かな手ごたえが指先に感じられました。

しかし、しかしです。数日後にできあがったスライドはまっくろで何も写っていませんでした。前日の夕方、すばらしい夕日を撮影したとき、絞りを16まで絞ったのをすっかり忘れていたのです。

悔しくて悔しくて、それから毎朝5時に起きて挑戦していますが、いまだにあのシーンは撮影できないままです。

それにもこりず、モデルたちとの出会いを求めて、今日もフィールドを走り回っています（写真はブル雄）。



わらびの性悪な(?)ツバメです
追い回されたあわれな子猫は
車の下に逃げ込みました

（押川歳子）

秋ヶ瀬探鳥会に参加して 矢作亮太郎（浦和市）

ようやく高校受験が終わり、半年間も休んでいた探鳥会にまた参加するようになりました。

今年も秋ヶ瀬で探鳥会をやることを知り、友人を誘って参加しました。朝起きた時は快晴で、カワセミ、ムナグロ、レンジャク、は見られると思いました。ところが、ムナグロを発見できなかった（他の人は見られたのに自分だけ見つけることが出来なかった。これは自分の責任である。）のに続き、お目当てであるレンジャク、カワセミも見られませんでした。ムナグロでイライラしていた所へダブルパンチです。一年前の探鳥会で来た時よりテニスコートやグラウンドが一段と増えていたことも、残念です。結局、良かったのは天気だけでした。

でも気を取り直し、また探鳥会に参加しようと思っています。

ごめんなさいコーナー

6月号（No61）3ページの図、大間木

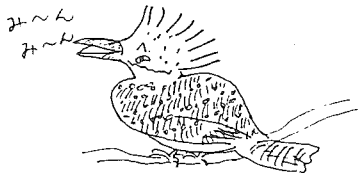
へ伸びる矢印の「荒川」は、「芝川」の間違いでした。訂正し、お詫びいたします。

はな野鳥情報

- ゴイサギ ◇4月25日、本庄市の阪東大橋下流で成鳥4羽若鳥6羽(井上幹男)。
- ササゴイ ◇5月2日、狭山市の入間川、本富士見橋上流で1羽。カワセミと並んでフィッシングをしていた(三田長久)。◇5月2日、川本町の明戸堰で1羽(諏訪隆久)。
- アマサギ ◇5月11日午前6時30分、本庄市の阪東大橋下流の牧草地で2羽。雨にぬれたアマ色がきれいだった(町田好一郎)。
- チュウサギ ◇5月11日、本庄市の阪東大橋下の石の上で1羽(町田好一郎)。
- アメリカコガモ ◇5月8日、戸田市道満でコガモの群れ中に♂1羽(高橋達也)。
- シマアジ ◇4月25日、本庄市の阪東大橋下流でコガモの群れ中に♂1羽(井上幹男)。
- ヨシガモ ◇4月13日、本庄市の阪東大橋下流で♂2羽♀1羽(井上幹男)。
- カワアイサ ◇4月13日、本庄市の阪東大橋下流で♂3羽♀2羽(井上幹男)。
- ツミ ◇5月4日、川口市差間の雑木林で幼鳥1羽。ヒヨドリを追っていたが、相手が大きいせいか失敗していた(何森 要)。
- ハヤブサ ◇4月11日、本庄市の上武大橋下流の中州で成鳥1羽。水浴び中にコアジサシの威嚇急降下(モビング)をうける(井上幹男)。
- チョウゲンボウ ◇5月5日、熊谷市の大麻生河原で1羽(諏訪隆久)。
- イカルチドリ ◇4月29日、狭山市の入間川、豊水橋から新富士見橋までの間で6羽(三

田長久)。

- コチドリ ◇4月29日、浦和市大間木の東浦和駅前の見沼田圃に隣接するグラウンドの隅で1羽。4ケの卵を抱卵中(為貞貞人)。
- ムナグロ ◇4月29日午前10時、浦和市大間木の東浦和駅前の見沼田圃で40羽。うち夏羽7羽(為貞貞人)。◇5月1日、大宮市の荒川、治水橋上流の野球場芝生の上で34羽。冬羽から夏羽への各段階を示すファッションショーでした。(三田長久)。◇5月14日、越谷市の独協埼玉高校附近で10羽(村上由香)。
- キョウジョシギ ◇4月30日、本庄市の阪東大橋下流の中州で1羽。ハマシギの間をぬうようにして小石をウラ返していた(町田好一郎)。◇5月5日、熊谷市の大麻生河原で10羽以上(諏訪隆久)。
- ハマシギ ◇4月29日、狭山市の入間川、豊水橋と新富士見橋の間で87羽(三田長久)。
- アオアシシギ ◇4月29日午前6時、本庄市の阪東大橋下流の中州で1羽(町田好一郎)。◇5月8日、戸田市道満の貯水池の干潟で9羽(高橋達也)。
- キアシシギ ◇5月2日、狭山市の入間川、豊水橋と新富士見橋の間で2羽(三田長久)。
- アカエリヒレアシシギ ◇4月29日、川本町の荒川、明戸堰の上流側で1羽。夏羽に換羽中(内藤義雄、榎本秀和、榎本みち子)。
- ツバメチドリ ◇4月20日、本庄市の上武大橋下流の中州で1羽(井上幹男)。
- アジサシ ◇5月11日午前7時、本庄市の阪東大橋上流の上空で2羽。小雨の中ホバリングをくり返していた(町田好一郎)。
- コアジサシ ◇5月8日、戸田市道満で3羽(高橋達也)。
- シラコバト ◇4月30日、鴻巣市滝馬室の水川神社で3羽。そのうち1羽は他の2羽に比べてわずかに褐色がかった。単なる個体差なのか、あるいは雌雄の違いによるものであろうか(榎本秀和)。
- アオバト ◇5月6日午後1時、狭山丘陵にて鳴き声を聞く(三田長久)。
- カッコウ(初鳴き) ◇4月17日、浦和市中尾の自宅附近で(草間和子)。◇5月10日、



(押川歳子)

午前7時、本庄市の阪東大橋下流のニセアカシアの枝で「カッカカッコー」とただどしく鳴く(町田好一郎)。◇5月13日午前7時、川越市下広谷で(鈴木暁子)。
◇5月13日、大宮市の市民の森周辺で(諸徳寺四郎)。◇5月15日、浦和市大間木の自宅附近で(大武昭雄、百合子)。◇5月17日午前7時、大宮市日進町で(森本國夫)。
◇5月23日午前9時30分、浦和市立コミュニティセンターそばの民家のアンテナにとまって鳴く(海老原教子)。

アオバズク ◇4月30日、越谷市桜井地区で1羽。5月15日、同地でつがいとなる。でも去年までの個体にあった目の傷がない。落鳥?浮気?離婚(山部直喜)→1988年8月号「会員の声」参照して下さい。

ヒメアマツバメ ◇4月25日、本庄市の阪東大橋下流上空でアマツバメの群れ中に2羽(井上幹男)。

アマツバメ ◇4月11日、本庄市の上武大橋下流上空で10羽以上(井上幹男)。◇4月30日、本庄市の阪東大橋下流で20羽(町田好一郎)。◇5月3日、長瀬町野上で5羽以上(森本國夫)。

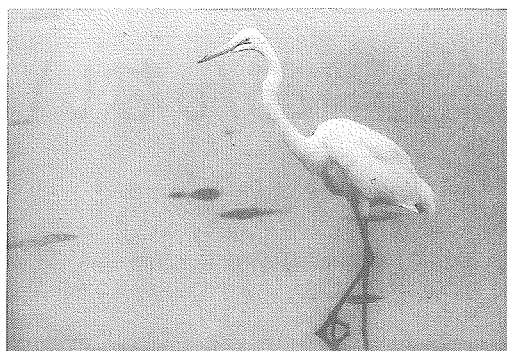
カワセミ ◇5月4日、川口市差間の用水路で1羽(何森 要)。◇5月8日、戸田市道満で2羽。繁殖を確認する(高橋達也)。

タヒバリ ◇4月18日、本庄市の阪東大橋下流の河川敷で7羽(井上幹男)。

ヒヨドリ(渡り) ◇4月18日、本庄市の阪東大橋下流で群馬県側に27羽渡る(井上幹男)。

ノビタキ ◇4月4日、本庄市の阪東大橋下流附近でも1羽。ほぼ夏羽になっていた(井上幹男)。

ツグミ ◇4月11日、本庄市の上武大橋下流



ダイサギ(本田 博)

のグラウンドで約150羽(井上幹男)。

オオヨシキリ ◇4月19日、日高町巾着田のドレミファ橋上流で1羽(西村光雄)。◇4月28日、本庄市の阪東大橋下流のアシの小枝で1羽(町田好一郎)。

メボソムシクイ ◇4月14日、浦和市中尾の自宅前の屋敷森で1羽(草間和子)。

エゾムシクイ ◇5月3日午前7時、大宮市日進町で1羽(森本國夫)。

センダイムシクイ ◇4月17日、大宮市日進町で1羽。4月29日にも同地で1羽(森本國夫)。◇5月2日、熊谷市大麻生のゴルフ場北の森で1羽。さえずりを聞いて30分ぐらいじっとしていたら姿を見せた。ゴルフファーは私は何をしていると思っだろう(諏訪隆久)。

アオジ(さえずり) ◇4月10日、大宮市日進町で1羽(森本國夫)。

コムクドリ ◇4月25日、本庄市の阪東大橋下流で♀2羽(井上幹男)。

カケス(渡り) ◇4月14日午前6時30分、本庄市の阪東大橋下流で南から北東へ約30羽渡る(町田好一郎)。4月18日、同地で12羽。埼玉から群馬県側へ。4月20日、同じく7羽群馬県側へ渡る(井上幹男)。

表紙の写真

バードフォトコンテスト入選作

アカショウビン(カワセミ科)

渓谷ぞいの林のなかで子育て中のアカショウビンに出会ったのは昨年7月の事だった。

間近に見るその目の思いがけない荒々しさに驚き、アカショウビンも懸命に生きているのだということとその瞬間に納得させられた。

あのとき巣立ちした雛たちは今どうしているのだろう。

今年もその季節になったが、忙しくてなかなかかけられず、気がかりな日が続いている。(写真と文・海老原美夫=浦和市)

行事あんない



坂戸市・高麗川探鳥会

期日：7月8日（土）

集合：午前9時 東武越生線川角駅前

交通：川越線大宮7：39発→川越8：03着、
東武東上線乗り換え、8：12発急行→
坂戸8：25着、越生線乗り換え、8：
37発→川角8：46着

解散：午後2時ごろ

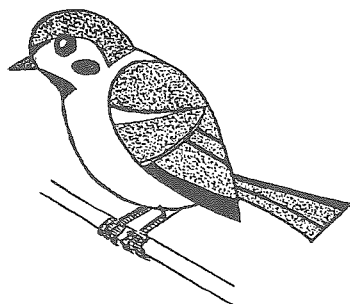
担当：楠見邦博

見どころ：川べりに涼をもとめて（Ⅰ）。碧い糸をひいて、カワセミが視野を切り裂きます。浅瀬ではサギの仲間が優雅なステップで餌さがし。キセキレイの黄色も川原を鮮やかに彩ります。

静岡県富士山五合目探鳥会（要予約）

期日：7月8日（土）～9日（日）

（定員に達したので受付は終了いたします。なお、参加者には集合場所・時間についての案内状を送りました。）



（榎本秀和）

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。

探鳥会に参加される場合、持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。参加費は、一般＝100円、会員及び中学生以下＝50円。受付は探鳥会当日です。特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。小雨決行です。

夢中になりすぎて、鳥を驚かしたり、植物を荒らしたりしないように。タバコの吸い殻やゴミを散らかすなんて事はもってのほか。いつもフィールドマナーをお忘れなく。

身支度ができたら、さあ出発！

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：7月9日（日）

集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9：00発→大麻生9：10着 / 秩父鉄道寄居8：52発→大麻生9：10着

解散：午後1時ごろ

担当：諏訪隆久、林滋、岡安征也、町田好一郎

見どころ：川べりに涼をもとめて（Ⅱ）。夏の太陽がカーッと照りつける風景にはコアジサシがとても良く似合います。素早い身のこなしで翔けまわり、そして急降下。誰ですか、「これで生ビールでもあれば…」なんて考えているのは。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：7月16日（日）

集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または午前9時 浦和市立郷土博物館前
（北浦和駅の場合、その後バス利用）

解散：午後1時ごろ

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、乗田実、手塚正義

見どころ：今、野や林は雛鳥たちの季節。巣立ったばかりのやんちゃ坊主たちが、初めて皆様に「こんにちは」。みんなしっかり育つんだぞ。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：7月29日（土） 午後1時～3時ごろ
 会場：支部事務局（浦和駅西口を出て左側、三菱信託銀行と日建ハウスの間に入って進み、信号ひとつ渡ってY字路の右、茶色5階建マンションの1階＝徒歩約5分＝住所は12ページ下欄のとおり）
 案内：暑くたって何だって、一度参加すると次も参加したくなるのが袋づめ。事務局にエアコンはないけど、冷蔵庫ならありますよ。

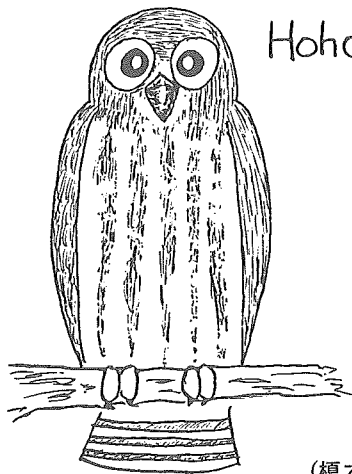
野鳥写真クラブ定例会

とき：7月29日（土） 午後3時ごろ～5時
 会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ
 案内：暑いさ中に、昼間からカーテン締め切ってスライドを見る。今夜のビールがおいしくなること請け合い。

熊谷市・大麻生探鳥会

期日：8月13日（日）
 集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前
 交通：秩父鉄道熊谷9：00発→大麻生9：10着 / 秩父鉄道寄居8：52発→大麻生

Hoho
Hoho



（榎本秀和）

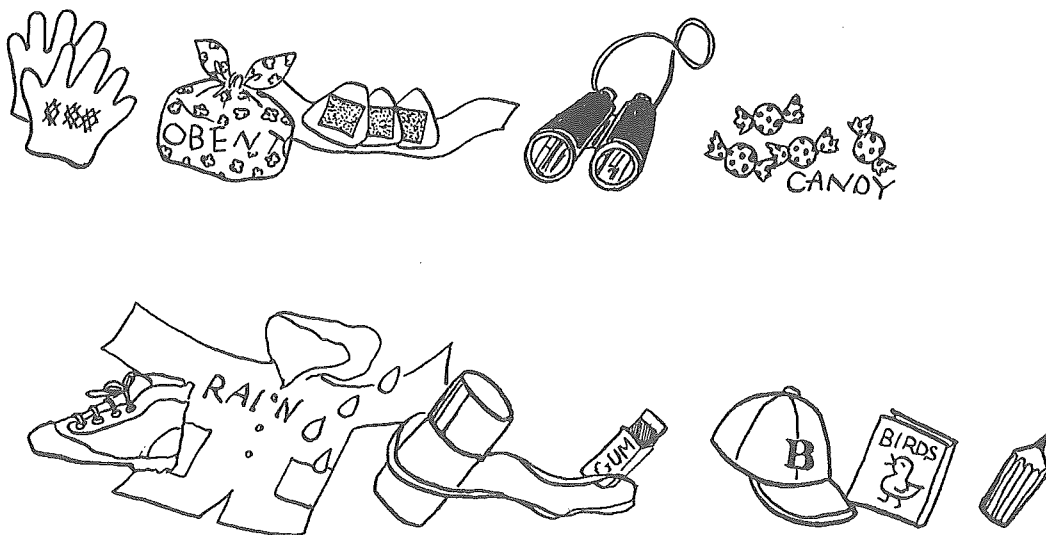
9：10着

解散：午後1時ごろ

担当：諏訪隆久、林滋、岡安征也、町田好一郎

見どころ：新支部発足以来、続いている探鳥会。地元幹事が若さで今年も頑張ります。皆さんも応援してください。合言葉は「継続は力なり」。

8月20日（日） 浦和市・三室地区探鳥会



（榎本みち子）

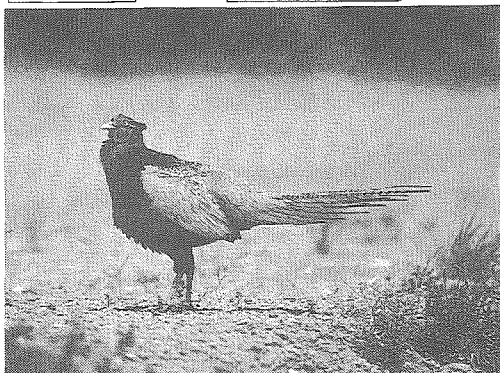
行事報告

4月29日(休)『しらこぼと』袋づめの会

がんばってくれた人 青沼俊雄、岩波勇一、伊藤芳晴、海老原教子、海老原美夫、草間和子、小山啓子、小山則雄、佐藤晶人、佐藤方博、白井岳彦、杉本秀樹、鈴木秀男、鈴木美恵子、高橋夕香子、野中康治、宮坂亨、横山みどり、吉田二三子、渡辺敦(20人)

4月29日(休) 写真クラブ定例会

集まった人 20人 作品発表した人 5人



キジ (鈴木秀男・大宮市)

4月30日(日) 神奈川県 多摩川河口

人 33人 天気 晴 鳥 カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ スズガモ トビ バン コチドリ シロチドリ メダイチドリ ダイゼン キョウジョシギ トウネン ハマシギ アオアシシギ キアシシギ ソリハシシギ オオソリハシシギ チュウシャクシギ ユリカモメ セグロカモメ カモメ ウミネコ ズグロカモメ コアジサシ キジバト ツバメ イワツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ツグミ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(39種) 衣更えをすませたシギやチドリ達。ぐっとカラフルになったその姿を、たっぷり楽しんだ。黒覆面のズグロカ

モメの登場に、エキサイト! 輝く水面にコアジサシが舞い、夏の扉が開き始めていた。

5月5日(休) 千葉県習志野市 谷津干潟

人 44人 天気 晴 鳥 ダイサギ コサギ カルガモ コガモ ハシビロガモ シロチドリ メダイチドリ ダイゼン キョウジョシギ トウネン オバシギ ハマシギ キアシシギ イソシギ オオソリハシシギ ホウロクシギ チュウシャクシギ ユリカモメ アジサシ コアジサシ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) ホウロクシギの長いくちばしや200羽以上のオオソリハシシギの乱舞は谷津干潟ならではのもの。他にもハマシギやメダイチドリの群れの中にオバシギを探し出す楽しみもあった。なお、解散後に後髪引かれ組約10名でヨーロッパトウネンの夏羽を堪能した。

5月7日(日) 本庄市 阪東大橋

人 19人 天気 雨 鳥 カイツブリ ゴイサギ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ トビ ハヤブサ コジュケイ バン コチドリ イカルチドリ シロチドリ トウネン ハマシギ イソシギ チュウシャクシギ コアジサシ キジバト アマツバメ カワセミ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ モズ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(37種) 雨の中を集まった熱意に応えるように、コアジサシはダイビング、アマツバメは目の高さのところを滑空。ここでは珍しいチュウシャクシギも。そして、フィナーレはハヤブサ君がむしゃむしゃ獲物

を食べているところを覗かせてもらった。

5月7日(日) 蓮田市 黒浜沼

人 8人 天気 雨 鳥 カイツブリ ゴイサギ カルガモ コガモ ムナグロ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ツグミ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス(19種) 雨のため参加者が少なかったが、アットホームな探鳥会。ムナグロは全部で40羽位居て、満足。また、オオヨシキリやゴイサギも間近で見ることができて、初めての参加者も喜んでくれた。

5月7日(日) 浦和市 見沼田圃

人 10人 天気 雨 鳥 コサギ カルガモ コガモ キジ バン コチドリ タンギ キジバト ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ ホオジロ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(22種) 市立博物館を起点として、いつもとちょっと違うコースを歩いた。あいにくの雨だったが、初参加の若い女性が二人も居て、なんとなく華やいだ雰囲気になった。

5月7日(日) 坂戸市 高麗川

人 8人 天気 雨 鳥 カイツブリ コサギ マガモ カルガモ コジュケイ キジバン イカルチドリ クサシギ キアシシギ イソシギ キジバト ヤマセミ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(32種) 朝からしっかり雨なのに、ちゃんと集合場所に現われる人達がいる。雨にも負けず探鳥会を開催してしまうリーダーがいる。もちろん野鳥たちも、雨だからといってかさをさしてどこかに遊びにってしまうわけにもいかず、鳥キチたちに見られてしまう。ゆっくり観察させてくれたヤマセミさん、ありがとう。

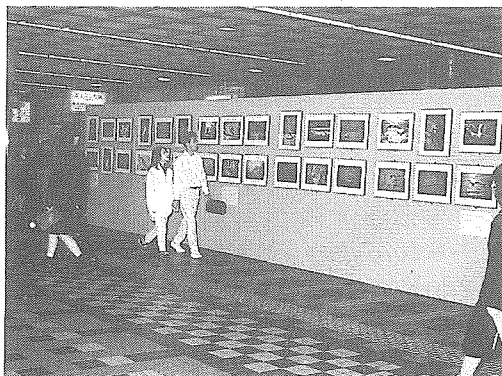
探鳥会后、お弁当を食べる場所を提供し、

あげく宴会までひらいてくれた近所の会員の増尾さんご夫妻、お世話になりました。

4月17日(月)～5月14日(日)

大宮駅コンコースの写真展

展示および撤去作業 海老原美夫、登坂久雄、福井恒人、森本國夫、渡辺周司。



新幹線を始め、6本のJRと私鉄が乗り入れている県内一のターミナル駅、さすがに人が多くて、ちょっとカウントしてみたところ、足を止めて見入った人だけでも5分間で平均約30人。1日ウン時間として、ウン日間だから……と計算しようとしたけれども、もう計算できないほどイッパイなのだ。

5月11日(木)～5月15日(月)

ソニックシティのイラストとカーピング展

展示および撤去作業 海老原美夫、高橋正美、山岸昭治、渡辺敦。



会場の担当者も驚くほどの入場者。芳名帳も足りなくなって2冊目を追加し、筆ペンのインクもなくなって3本使ってしまうほど。テレビの取材なども含めて、大きな反響があった。



留守番電話とファックス が入りました

事務局は夜間と日曜祭日は留守になります。その間のご連絡にご不便をおかけしていましたが、留守の間も留守番電話とファックスが忠実に働くようになりました。ファックスも従来の電話番号と同じで、留守の間は自動的に留守番電話かファックスにきりかわるようになっていきます。

もちろん人がいるときは、普通の電話、普通のファックスとして働きます。

野鳥情報、『しらこぼと』の原稿、落書、ご意見……何でもお待ちしております。お近くの文房具屋さん、コンビニエンスストア、駅などにコインファックスはありませんか。どんどんお送りください。

夏鳥分布調査はがきをお送りください

先月号でもお知らせした夏鳥分布調査。7月10日がいよいよ期間の終りです。同封したはがきは料金受取人払いですから、切手を貼る必要はありません。5月10日からの期間中の結果をまとめて書き込み、そのままポストに投函してください。

データを積み重ね、変化する県内の野鳥の実態にせまります。

支部長らが受賞

5月14日(日)に開催された全国野鳥保護のつどい式典において、今井昌彦支部長が鳥類保護連盟会長賞、田村照治副支部長が鳥類保護連盟会長褒状を受賞しました。

長年の自然保護活動に対する献身が高く評価されたものです。

ありがとうございます

次の方々からご寄付をいただきました。

上野明子 5,000 円、5/27袋づめの会居残り組 628 円、小谷野勝栄 10,000 円、下羽生子供会 2,000 円、鈴木忠雄 200 円、田口浩司 10,000 円、田村典子 40 円、野崎幸雄 10,000 円、依田浩二 2,000 円。(50音順、敬称略)

会員数は

6月20日現在 1,087 人です。

活動報告

- 5月1日 『しらこぼと』5月号発送。
- 5月18日 バードソンメンバー広報用撮影。
- 5月19日 事業部決算書類作成(草間)。
- 5月20日 普及部会議。役員会議(司会:横山みどり、各部の報告、総会、バードソン、10月までの行事、その他)。
- 5月23日 6月号校正(大武昭雄、森本國夫)。
- 5月26日 アズ熊谷4階バードソン展展示作業立会い及び熊谷駅コンコース写真展展示作業(海老原)。
- 5月27日 バードソン会議(アズ熊谷にて)。
- 5月29日 6月号発送。



5月のある日、地元M氏のご案内で群馬の某所で探鳥し、そのまま野営したときのこと。翌朝3時起床、闇の中でコーヒーをすすりながらフクロウの声を聞いていると、突然車が1台現われた。

「すわっ、密猟者か」と緊張していると、車を降りた男がこちらへ来るなり一言、「榎本さ〜ん」。何とその男性は、私の妻から場所を聞いてやって来た、埼玉県支部のS幹事であった。

私は、刺客に追いつかれた抜忍カミイのような心境で「やあやあ」と挨拶をした。

(榎本秀和)

『しらこぼと』1989年7月号(第62号) 定価 100円(会費に含まれます)
 発行人 今井昌彦 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX 048(832)4062
 〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130
 印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)